

可惜季燕介『ふたりの秘密』の、あなた目線のメモです。

録音データ視聴後にお読みください。

※あなたが本当に『ハメ撮り』にハマっているか否かで一部内容が異なります。

→選択肢 A

【そんなことない】

真面目なお姉さんは、このままお読みください。

→選択肢 B

【そんなことある】

すっかりえっちなお姉さんは、同梱の『memo_B』をお読みください。

■選択肢 A 【真面目なお姉さん】

会社近くの大きな公園。

シンプルな布で丁寧に包まれたお弁当箱を膝に乗せたまま、緊張で微かに震える手を握りしめているあなた。

『——てかスマホでリアタイ中でしょ』

姉であるあなたを咎めるように低くなった声とは裏腹に、スマホの小さな画面に映る燕介の口元は愉しげに笑っている。

ことの発端は先日家に持ち帰った『ぬいぐるみ』

プレゼン用の試作品として特別に作ってもらったもので、弟の燕介がモデルだ。

燃えるように深い赤や、光に透ける淡いピンク……。

朝焼けのように変化していく燕介の髪色が好きなあなた。

ぬいぐるみの髪は丁度中間くらいの色合いで、いつでも眺められるようにベッドの枕元に飾っていた。

この“ぬい”には実用的な機能もある。

超小型カメラを内蔵しており、いつでも撮影・録画が可能。

ライブカメラとして現在の様子を確認することもできる。

ひとりで過ごすお昼休み。

なんとなく手持ち無沙汰になり…なんとなく動作確認をしてみただけだった。

本当に覗くつもりはなかったのに。

『ねえちゃん』と自分を呼ぶ切なげな声を聞けば、目を離すことはできなかった。

枕に顔を埋め、熱い吐息が漏れるたび上下する喉仏が色っぽい。
弟にこんな感情を抱くなんて…。
頭ではダメだと思っているのに、身体はすぐに甘い快感を思い出し、お腹の奥がじんと疼いてしまう。

『もしかしてハマっちゃった？ ハメ撮り♡』

そんなありえない濡れ衣を着せられても、
弟の行為を覗いてしまった罪悪感のせいか反論もできず…。
(覗いたのは自分の部屋であり、むしろ不在中のベッドで自慰行為をされていたあなたのほうが被害者なのだが)
姉の生真面目さにつけこむのが上手い弟と、
弟のからかいを間に受けてしまい涙目のあなた。
そんなあなたを甘やかすようにも甘えているようにも聞こえる声で、優しく囁く燕介。
『大好きだよ』

ついこの間まで“家族”として可愛がってきた弟からの愛の言葉に耳が熱くなる。
“姉”として頑なに守ってきたストッパーは、あの日燕介にこじ開けられ、もう殆ど外れてしまっていることにあなたも気づき始めていた。

なんだかんだでお似合いのふたり。
帰宅後朝まで『お仕置き』を楽しんだようです♡